

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは 広報・IR室

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 FAX 075-312-0493 <http://www.gs-yuasa.com/jp>

2018年1月15日

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー

**GSユアサの宇宙用リチウムイオン電池が
イプシロンロケット3号機と高性能小型レーダ衛星「ASNARO-2」に搭載**

GSユアサグループの株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー(社長:加藤 泰一郎、本社:京都府福知山市。以下、GYT)製のリチウムイオン電池が、2018年1月17日に国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(理事長:奥村 直樹、本社:東京都調布市。以下、JAXA)殿により内之浦宇宙空間観測所から打ち上げ予定のイプシロンロケット3号機と、同ロケットに搭載される高性能小型レーダ衛星「ASNARO-2」^{※1}に採用されています。

イプシロンロケット3号機には、JAXA殿からの開発要求を受けて、GYTが株式会社IHIエアロスペース(代表取締役社長:牧野 隆、本社:東京都江東区)殿との契約により開発した「ロケット共通リチウムイオン電池」が搭載されており、ロケットの制御系機器などに電力を供給します。

また「ASNARO-2」にはGYT製の宇宙用リチウムイオン電池「JMG050」(50Ah)が搭載されています。GYT製の宇宙用リチウムイオン電池は、2000年代初頭に軌道上での宇宙実証が行われて以降、国内・海外の宇宙機に搭載されてきました。その実績が評価され、現在実証運用中の「ASNARO-1」(高性能小型光学衛星)に続いて、「ASNARO-2」に採用され、衛星が地球の陰に入った時に電力を供給する働き^{※2}をします。

GYT は特殊用途の電池や電源を開発・製造販売しており、海・陸・空(水深 6,500m の深海から、上空 36,000km の宇宙空間まで)の特殊環境フィールドで、高性能かつ高品質な電池をお届けしています。

今後も高性能リチウムイオン電池の開発・製造を通じて、宇宙開発事業へ貢献してまいります。

※1 経済産業省殿が推進するASNARO(Advanced Satellite with New system Architecture for Observation)プロジェクトにて、宇宙機器産業の競争力強化および利用産業の拡大に向け、短納期、高性能、小型かつ低価格の地球観測衛星として開発されたレーダ衛星。

※2 人工衛星は、太陽電池から供給される電力で稼働しますが、軌道上で衛星が地球の陰に入って太陽の光があたらない期間があります。この期間中、リチウムイオン電池が衛星の稼働に必要な電力を供給します。

【「ASNARO-2」へ搭載されたリチウムイオン電池の仕様】

部品番号	JMG050※ ³
公称電圧(V)	3.7
容量(Ah)	50
寸法(mm)※ ⁴	W130xD(52)xH131
質量(g)	1,510

※3 JAXA 殿データベースに登録・開示されている JAXA コンポーネント登録品
<http://www.ard.jaxa.jp/database/db-compindex.html>

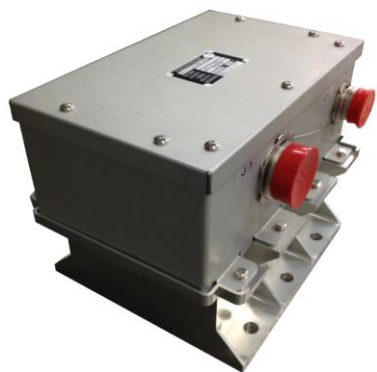
※4 寸法 H はスタッドボルト部除く

【写真】

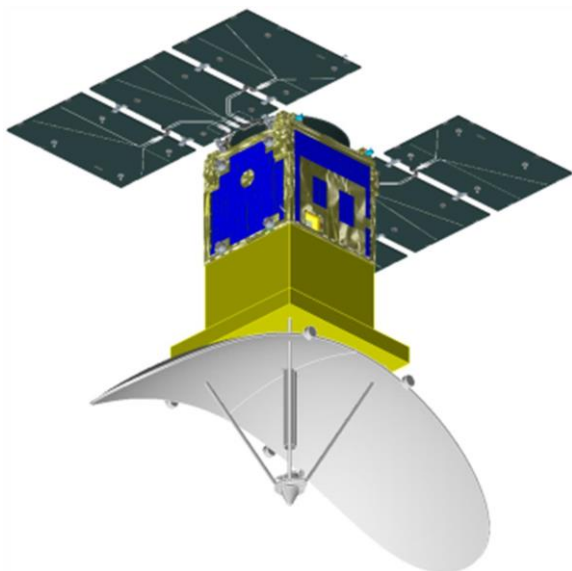
1. イプシロンロケット(提供:JAXA 殿)



2. ロケット共通リチウムイオン電池



3. 地球観測衛星(レーダ)「ASNARO-2」
(提供:経済産業省殿)



4. ASNARO 搭載リチウムイオン電池「JMG050」(左)



【この件に関するお客様からのお問い合わせ先】

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー 営業部 TEL 03 - 5402 - 5867

【この件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 GSユアサ 広報・IR室 TEL 075 - 312 - 1214